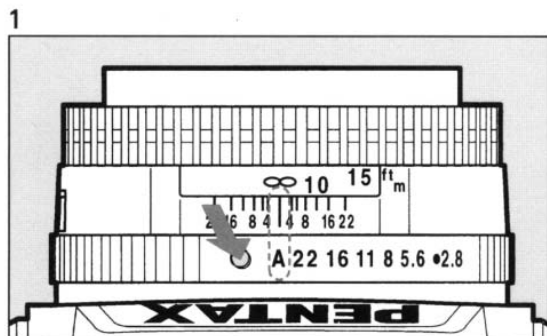


- * 視度の調整範囲は、 $-3.5 \sim +1\text{m}^{-1}$ [毎メートル] です。
- * 視度調整はご使用前に必ず行ってください。

カメラを明るい方へ向けて、図のように視度調整リングを回し、ファインダー内のオートフォーカスフレーム [C] の線が最もはっきり見える位置に調整します。
 視度は時計方向に回すと-側、反時計方向に回すと+側に調整されます。

II 基本的な使い方

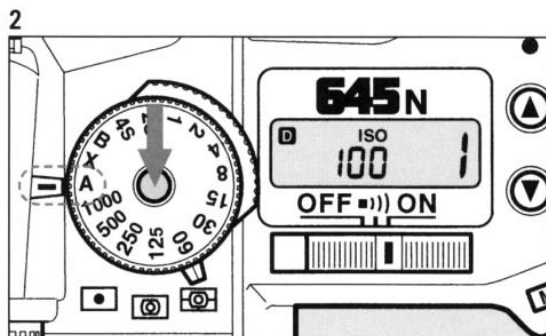
[撮影]



このモードは、最も簡単な露出モードで、カメラが自動的に露出合わせをしますので、シャッターボタンを押すだけで簡単に撮影が楽しめます。

1. 絞りオートロックボタンを押しながら、レンズの絞りを **A** 位置に合わせます。

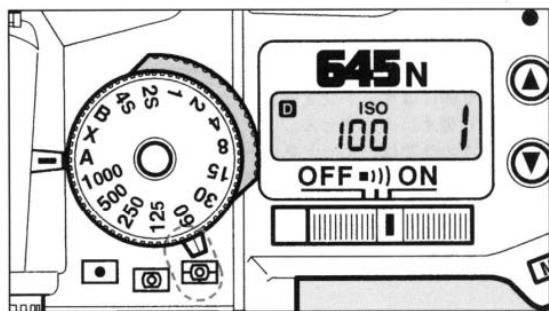
* レンズの絞りを **A** 位置から外す場合にも、絞りオートロックボタンを押しながら回してください。



2. シャッターダイヤルロックボタンを押しながら、シャッターダイヤルを **A** 位置に合わせます。

* シャッターダイヤルを **A** 位置から外す場合にも、シャッターダイヤルロックボタンを押しながら回してください。
* 他の露出モードについては 44、46、48、50 ページをご覧ください。

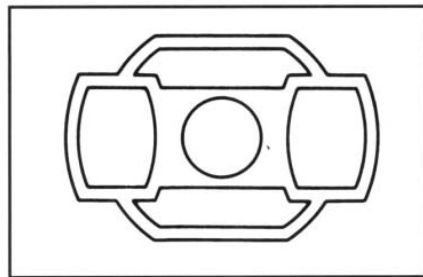
測光方式を分割測光にします



* このカメラには、分割測光以外に中央重点測光およびスポット測光があります。54、55 ページをご覧ください。

6 分割測光について

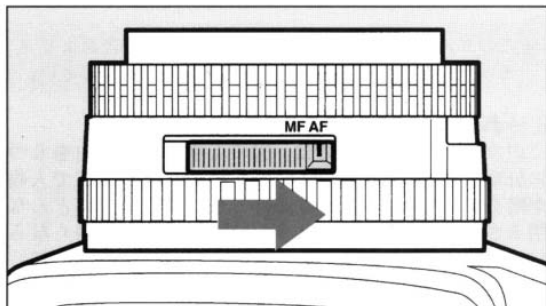
このカメラの分割測光では、図のように、画面内を6つに分割して明るさを測っていますので、逆光などで人物が暗くなってしまうような条件でも、どの部分にどんな明るさの物があるかをカメラが判断し、人物が暗くならないように自動的に補正を行ないます。ですから、初心者の方でも安心して撮影を楽しんでいただけます。



分割測光では、画面内を分割して明るさを測っていますので、逆光など様々な条件でも最適な露出を得ることができます。

測光方式切り替えレバーを図の緑の部分を持って **M** 位置に合わせます。

* 67レンズ用アダプター-645やヘリコイド接写リング645など、絞り **A** 位置で使用できないアクセサリを付けた場合、分割測光を選択しても中央重点測光になります。

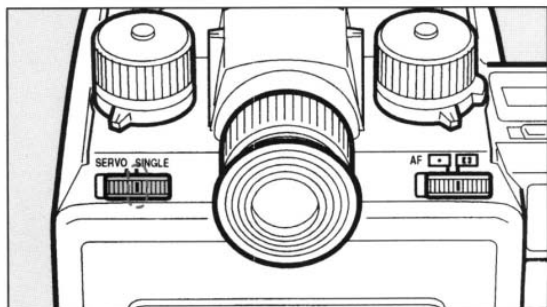


オートフォーカスでは、シャッターボタンを半押しするだけで自動的にピント合わせが行なわれます。

レンズ側をオートフォーカスに切り替えます。

- * レンズ側の切り替え方法はレンズによって異なります。詳しくは、レンズの説明書をご覧ください。
- * カメラ側にはオートフォーカスとマニュアルフォーカスの切り替えはありません。
- * このカメラでは、オートフォーカスを使わずに、手動でピント合わせをすることもできます。詳しくは、60ページをご覧ください。
- * Aレンズ[LSレンズを含む]ではオートフォーカスは働きません。

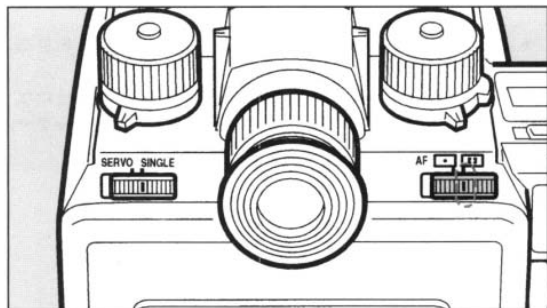
AFモードをシングルにします



オートフォーカスで最も一般的なモードです。シャッターボタンを押してもピントが合っていないとシャッターが切れませんので、安心して撮影できます。

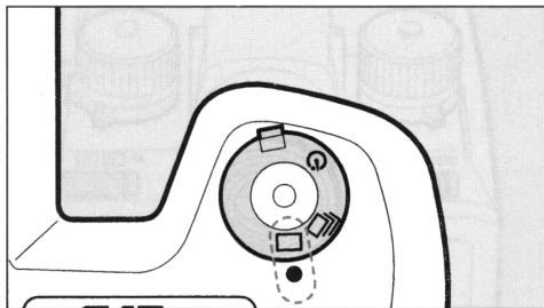
AFモード切り替えレバーを **SINGLE** 位置に合わせます。

- * オートフォーカスのモードには、他にサーボモードがあります。57ページをご覧ください。
- * Aレンズ[LSレンズを含む]では手動のピント合わせになります。この場合、ピントが合っていないでもシャッターは切れます。



3点AFでは、ファインダー内の [□] の内側でピント合わせを行います。一般的な撮影では、このモードをご利用ください。

AFエリア切り替えレバーを [□] 位置に合わせます。



シャッターボタンを押し切ったままでも、1回だけシャッターが切れる最も一般的なモードです。

ドライブダイヤルを回して [□] 位置に合わせます。

カメラの構え方

横位置



縦位置



撮影するときは、カメラの構え方が大切です。

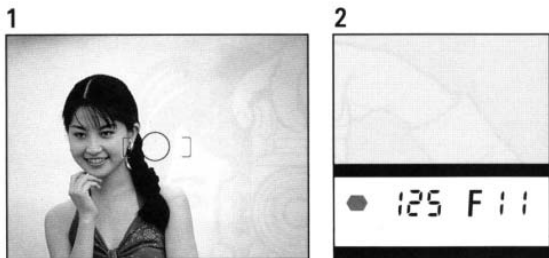
- 図のようにカメラを両手でしっかりと持ってください。
- シャッターボタンは指の腹で静かに押します。[強く押すとカメラが動いてしまい、きれいな写真が撮れません。]

* 木や建物・テーブルなどを利用して、体やカメラを安定させると効果があります。

* 個人差はありますが、一般的には焦点距離の逆数が手持ちの限界シャッター速度とされています。例えば、焦点距離が75mmでは1/75秒、150mmでは1/150秒などです。これ以下のシャッター速度になる場合には、なるべく三脚を使用してください。三脚用の穴には縦位置用と横位置用の2種類があります。

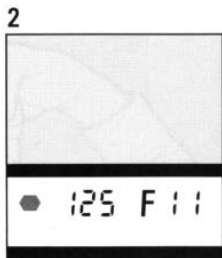
三脚を使用する場合は、別売りの「ケーブルスイッチF」あるいは「ケーブルリリース」の利用をお勧めします。

* 望遠レンズで三脚を使用するときは、カメラやレンズの総重量より重い三脚を使うとカメラぶれ軽減に効果があります。



レンズがオートフォーカスに設定されていることを確認します。

1. 写真で示すように、ファインダー内の3点AFフレーム [] の内側に写したいものを合わせ、シャッターボタンを半押しすると、自動的にピント合わせが行なわれます。
2. ピントが合うと、図のようにファインダー内の [] が光ります。
3. さらにシャッターボタンを押し切ると撮影できます。



- * シャッターボタンを半押しすると、ファインダー内にシャッター速度と絞り値が表示されます。
- * 中央の狭い範囲だけにピントを合わせたいときは、58ページをご覧になり、スポットAFをご利用ください。
- * ピントが合ったときに電子音を鳴らすことができます。14ページをご覧ください。
- * オートフォーカス作動中は、レンズの距離リングに手をかけたり回転を妨げたりしないでください。

[] が点滅を続けるときは、以下の理由でピント合わせができないときです。

- ①撮影距離が近すぎる
もう少し離れて撮影してください。
- ②オートフォーカスの苦手な物の場合。62ページをご覧ください。

- * シャッターを切ると自動的にフィルムが巻かれ、表示パネルの枚数表示が1つ進みます。
- * ピントが合うまでシャッターは切れません。
- * シャッターボタンを半押しして、[] が光っている間は、ピントがその位置で固定[フォーカスロック]されていますので、別のものにピントを合わせ直すときは、シャッターボタンから指を離して押し直してください。
- * AFモード切り替えレバーが[SINGLE]で、ドライブモードが連続撮影 [] のときは、ピント合わせは1コマ目のみ行われます。2コマ目からは、1コマ目で合わせたピントのまま連続的にシャッターが切れます。
- * プリント時に画面周辺の物がカットされることがあります。構図に少し余裕を持たせてください。
- * レンズシャッター付レンズを使用しているときは、シャッター速度に [LS] が表示されます。